

地域の活動拠点のあり方を考えます！

- 富木島地区では、令和4年度（2022年度）に地域の将来像「ふきしま将来ビジョン」を策定し、その実現に向けて様々な活動を展開しています。
- 令和6年度（2024年度）からは、地域課題の解決や活力の創出につながる取組を行うための活動拠点のあり方を検討していきます。
- 第3回は令和7年（2025年）1月18日（土）に富田公民館で開催しました。（参加者7名）

富木島公民館を核にした新たな活動拠点の機能や活用方法を描く！

- 第2回で確認した地域密着型施設（公民館・児童館・健康交流の家）の「良い点・気になる点」を踏まえ、「新しい施設での活動や期待する役割」のアイデアを出し合い、地域の将来像を実現するために「必要な機能や条件」について考えました。

参加者のみなさんからいただいたアイデア(抜粋)

★・・・児童館や健康交流の家との施設間連携に関するもの

利活用のイメージ、期待する役割・効果		必要な機能や条件
居場所・多世代交流	●交流の場（バーベキュー、朝市、家庭菜園など）でつくっている野菜などを販売するファーマーズコーナーなど ●自分図書館（人におすすめしたい読み物の紹介や貸出ができる） ●ふらっとおしゃべりできる ●飲食できる空間	●多様な機能に対応できる室（間仕切り等） ●地域でDIYができる作業場 ●本棚 ●貸室の空き状況の確認、予約、支払いのデジタル化 ★公民館、児童館、健康交流の家の利用状況を整理し、利用方法を再検討
コミュニティ、町内会・自治会	●コミュニティが活動しやすくなる ●地域の特色を活かした活動や情報発信ができる	●コミュニティの作業スペース（事務室、作業室、工作室、コピー機など）
趣味・サークル	●サークル活動をPRできる ●サークル対抗イベント（試合、カラオケ）	
子ども・若者	●子ども食堂として利用できる ●子どもに関する相談ができる ★夏休みなどの長期休業期間に子どもが昼食をとれる ★予約なしで小学校高学年、中高生が運動できる（見守り体制が必要）	●飲食可能なスペース ●授乳やおむつ替えのスペース
高齢者	●高齢者が集まれる ●ふらっと立ち寄って談話ができる	★公共施設間を移動するバスなどの輸送手段

今後は・・・■引き続き、地域の合意形成を積み重ねた検討を進める

■コミュニティや各施設等の幅広い関係者へ、地域の活動拠点のあり方についての情報を共有し、意見を集約する

本取組に関するご質問等は下記までお問い合わせ下さい

連絡先：東海市市民協働課

電話：052-613-7526、7527／0562-38-6141、6142

Email chiiki@city.tokai.lg.jp